

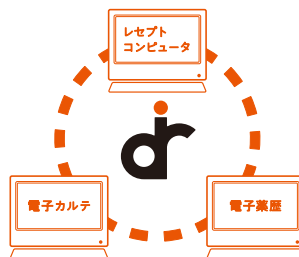


DIR(ディー・アイ・アール)は、すべてにおいてNo.1を目指しています

- 医薬品の公的文書である添付文書を完全網羅
- 毎月最新のデータベースをご提供し、一部はリアルタイムでのご提供が可能
- 1989年からの臨床現場での活用実績 延べ30,000施設以上
- 各種の標準データベースや情報と連携可能

優れた検索精度	安全性と適正性に 着目した処方チェック
群を抜く データの質と量	薬剤師による迅速かつ 安定したメンテナンス

DIR(ディー・アイ・アール)は、
電子カルテ、電子薬歴、
レセプトコンピュータに搭載されて、
数多くの臨床現場で活用されています



DIR導入のメリット

- 医薬品の処方・調剤におけるリスクマネジメント
- 業務の効率化および効率化による質的・量的な患者サービスの向上
- 医療機関内の他部門との業務連携や 病病・病診・病薬・薬薬連携、地域医療連携の実現
- 医薬品情報データベースを用いた分析などの研究や 医療経営のコンサルテーションへの活用



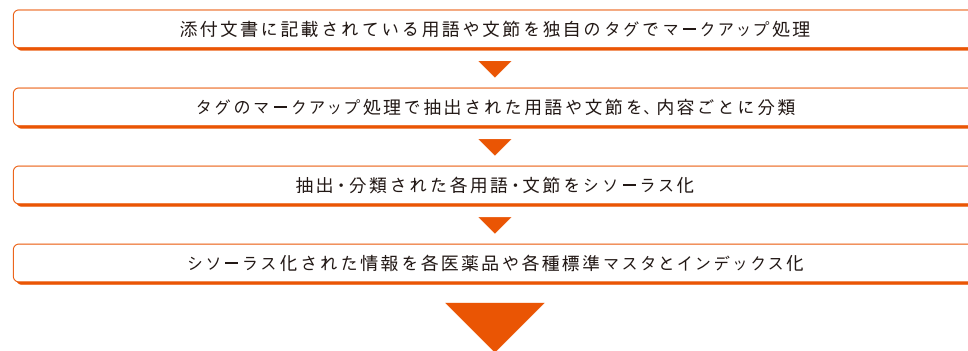
DIRを活用した医薬品情報提供サービスの展開

[事例] ●薬の検索 : <http://www.data-index.co.jp/> ●e-pharma : <http://www.e-pharma.jp/>

「情報医療」を実現するために、DIR(ディー・アイ・アール)には、
私たちが培ってきたあらゆる技術が注ぎ込まれています

データベースの特徴

独自のオントロジに基づき抽出された各種用語に意味論的処理をした“進化し続けるナレッジベース”。
40種類以上の多様なデータベースを自在に組み合わせることにより、皆様のご要望にお応えします。



DIR(ディー・アイ・アール)は、
用途に応じた組み合わせ自由自在のデータベースです

詳細は弊社ホームページ(<http://www.data-index.co.jp/>)をご覧ください。

医療用医薬品

- 医薬品マスタDB
- 医薬品包装単位DB
- 添付文書DB(テキスト版・PDF版)
- 改訂情報DB
- 先発後発一般名処方DB
- 後発医薬品DB
- 向精神薬候補薬剤DB
- 相互作用DB
- 成分DB
- 同種同効薬DB
- アンチドーピングDB
- 配合変化DB
- pH DB / 溶解液DB
- 用法・用量DB

- 適応病名DB
- 適応病名とレセプト病名とのリンクDB
- 禁忌病名DB
- 禁忌病名とレセプト病名とのリンクDB
- 間診疾患禁忌病名DB
- 副作用DB
- 間診副作用DB
- 粉碎分割一包装DB
- 剤形・薬剤識別・カラーDB
- アレルギーDB(医薬品・飲食物)
- 小児・高齢者・妊婦・授乳婦・性別注意DB
- 薬剤情報提供DB
- 栄養管理DB など

OTC医薬品

- 医薬品マスタDB
- 医薬品包装単位DB
- 添付文書DB(テキスト版・PDF版)

- 相互作用DB
- 成分DB
- 適応病名DB など

【データ提供形式】 ●CSV、ACCESSなど

詳細は弊社までお問い合わせください。ご要望に応じたDBの作成も行います。

医療に関わるすべての方へ適切な情報を——。
私たちが持つ“医療へのおもい”を情報技術によって具現化したDIR。
日々進化し続けるこのナレッジベースが、「情報医療」を実現します。



データインデックス株式会社
〒105-0012 東京都港区芝大門2-5-5 住友芝大門ビル11階
URL: <https://www.data-index.co.jp/>

情報で医療をささえる、それが「情報医療」です。
医療関係者、そして患者さんへ適切な情報を提供することが
安全で最適な医療の実現につながると私たちは考えています。
私たちは、「情報医療」によって医療の向上に貢献します。